

年頭のあいさつ



【今年の一文字】



今年の一文字を揮ごうされたのは  
横山 光<sup>ひかり</sup>さん (17歳)

滝川高等学校の2年生。本年度の全道高等学校書道展に出品した作品が、最優秀賞にあたる北海道高等学校文化連盟賞を受賞し、来年夏の全国高等学校総合文化祭に空知管内から唯一となる出場を決めました。

「万里一空」さらなる  
議会改革を目指して

滝川市議会議長  
関藤 龍也



心新たに  
「当機立断」の年に

滝川市長  
前田 康吉



市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和5年の新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。また、平素より、滝川市議会ならびに市政に對しまして格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、世界に目を向ければロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻が起りました。この行為は、国際社会を揺るがす暴挙であり、滝川市議会としても厳しく非難するとともに、平和的な解決を求める決議を全会一致で採択しました。一日も早い終息を願わずにはいられません。一方、新型コロナウイルスの感染拡大は3年目に入りましたが、一時期感染者数の減少が見られましたが、再び増加傾向に転じ、市民生活をはじめ経済活動などに大きな影響を与えています。ワクチン接種は発症や重症化を防ぐ効果が期待されていることから、重症化リスクの高い方をはじめ、若い世代の方は早めの接種の検討をお願いします。私が議長に就任後、新たな取り組みとして、3つの常任委員会委員と市民の皆様との意見交換会を実施しましたが、コロナ禍の影響を受け中断を余儀なくされています。そうした中、昨年初めての試みとして、空知北学区高校配置計画に関する北海道教育委員会との懇談を行いました。生徒数の減少により将来、定員調整や再編整備が想定されますが、教育水準の維持向上に向けて、今後も時機を見ながら懇談

新年あけましておめでとうございませぬ。市民の皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたことお慶び申し上げますとともに、市政に對する深いご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。市民の皆様にとって昨年ほどのような年であったでしょうか。私にとっては昨年でもまた新型コロナウイルス感染症との闘いの年であったと思っております。市民の皆様は感染拡大防止への協力をいただきながら、ワクチン接種を進めて参りましたが、第7波、第8波と感染が拡大し、市民生活や社会経済活動に大きく影響を及ぼしました。このような中、地方創生臨時交付金を活用し、子育て支援やプレミアム商品券の発行等を行いました。市民生活は厳しい状況が続いています。本市としては今後も国の動向を見極めつつ、効果的な対策を検討していきます。この感染拡大は市内の施設にも影響がありました。利用者減少とエネルギー高騰問題による「滝川スポーツクラブサント」の破産申請と「滝川ふれ愛の里」運営者の今年度での撤退表明です。皆様から再開や継続を望む声を多数いただいておりますので、温水プールにつきましては、本年4月からの再開に向け協議中であり、ふれ愛の里につきましては、4月からいったん指定管理とし、今後の営業継続方針の検討を進めることとしました。一方で、感染拡大と闘いながらもさまざまな努力も続けてきました。その一つが第2次財政健全化計画達成に向けた奮

の機会を設けていきたいと考えています。昨年は多くの節目を迎えた年でもありました。友好親善都市である栃木県栃木市との盟約40周年では、より一層の相互理解と交流促進を両市で確認しました。また、國學院大學北海道短期大学部が開学40周年を迎えました。学生の皆さんによる熱心な地域活動に敬意を表するとともに、地域の活性化を担う若い力としてさらなる活躍を期待しています。さらに、市立高校となり50周年を迎えた滝川西高等学校は、これまで多くの有為な人材を社会に輩出してきました。輝かしい歴史と伝統は今後も引き継がれていくことでしょう。今春は、統一地方選挙が実施されます。投票率の低下、議員のなり手不足といった状況は、住民自治の根幹に関わる深刻な問題です。若者や女性、会社員など多様な人材の地方議会への参画を促進し、活力ある地方議会を実現するためにも、市議会は市民の皆様から信頼され、必要とされる議会を目指し、「万里一空」不届の努力を続けて参りますのでご理解とご支援をお願いします。結びに、市民の皆様にとりまして、本年が輝かしく大きく飛躍する一年となりますよう、議員一同心よりご祈念を申し上げます。新年のご挨拶といたします。

関であります。ふるさと納税の効果もありますが、市民の皆様のご理解と職員の努力の賜物と感謝しております。また、テレワークが普及していく中、グライダーとの連携も着目されており、新しい広がりが見込まれると期待しております。令和4年度は、「総合計画」「立地適正化計画」「公共施設個別施設計画」とこれからのコンパクトで持続可能なまちづくりに大切な計画を市民の皆様のご意見も伺いながら策定作業を進めており、3月までに成案にします。また、新しい文化施設につきましては、これまで内部の協議を行ってまいりましたが、各団体や市民の皆様のご意見を伺いながら、基本構想をまとめていきたいと考えております。このほかにも、難問山積であります。「立地適正化計画」の市民アンケートで駅前を活性化してほしいとの声が多くありました。私も以前より課題であると認識していましたので、さらに積極的に取り組んで参りたいと考えております。私は本年の一字を「機」としました。心機一転、機を見るに敏で、滝川市の経済活動と市民生活の安定を図り、子育て支援策の充実を目指すなど、市民の皆様にご喜んでいた「ちよんごい田舎滝川」の実現に向け取り組む所存です。令和5年が皆様にとって輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。